

## 令和5年度「学校評価アンケート」の結果について



学校教育目標『志をもって「未来を切り拓け」』の実現に向け、『自ら確かな力を付け、その力を発揮し合い、生徒同士と教師の「笑顔」と「声」が飛び交う学校』をめざして様々な教育活動に取り組んできました。

現在本校では、今年度の教育活動について評価・反省を行い、来年度の学校経営方針や教育活動の枠組み等について話し合い進めているところです。これに関わり、昨年度末に、生徒及び保護者、学校運営協議会の皆様に学校評価アンケートを実施しました。多くの皆様にご協力いただきありがとうございますございました。

保護者の方からは、「学校行事」「部活動」「SNSやタブレットの使用」「家庭学習」等について、地域の方からは、「ボランティアへの参加促進」「地域防災訓練への参加」等についてご意見をいただきました。これらのご意見を真摯に受け止め、来年度の学校経営方針や教育課程等の検討に生かしていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

### 1. 生徒の姿に関わって

(評価点は4点満点)

評価項目		今年度	R4
生徒	自分で目標を決め、計画的に学習することができる。	3.46 ↑	3.02
	計画的に家庭学習を進めることができる。	2.65 ↑	2.60
	基本的な生活習慣が身についている。(挨拶・服装・時間)	3.36 ↑	3.31
	体育の授業、家庭での運動や部活動(校外のクラブ活動でも可)など、体力の向上に取り組んでいる。	3.33 ↑	3.32
	自分のよいところがわかる。	3.10 ↑	3.07
	失敗を恐れずに挑戦しようとしている。	2.86 ↑	2.70
	自分や仲間の笑顔を創り出そうとしている。	3.27 ↑	3.15
保護者	いじめを許さない・見逃さない行動をすることができる。	3.32 ↓	3.38
	自分で目標を決め、計画的に家庭で学習を進めることができる。	2.47 ↓	2.50
	あいさつや身なりなど、基本的な生活習慣が身に付いている。	2.90 ↓	2.98
	体育の授業、家庭での運動や部活動(校外のクラブ活動でも可)など、体力の向上に取り組んでいる。	3.16 ↑	3.12
	自分の良さを自覚している。	2.79 ↑	2.77
	何事にも前向きに挑戦しようとしている。	2.83 ↑	2.78
	他者を思いやることができる。	3.35 ↓	3.38

### 【考察】

「自分や仲間の笑顔を創り出そうとしている」には、「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に回答した生徒の割合は約83%でした。生徒会や学級を中心とした「スマイルタイム」や「よいところ見つけ」、学校行事、「ぎふMIRAI's」や教科の授業における協働学習などにおける仲間とのかかわりが、他者理解や相手のよさを認め合う関係づくりにつながっていると捉えています。一方で、家庭学習の進め方については、生徒も保護者も課題を感じている様子が伺えました。教科で使用している副教材や「スタディサプリ」などを活用した復習の指導を進めてきましたが、主体的に家庭学習に取り組む習慣を身に付けることができるような手立てを検討していきたいと考えています。

## 2. 学校の教育活動に関わって

(評価点は4点満点)

評価項目		今年度	R4
生徒	授業の始めに「課題」をはっきりと示して授業を行っている。	3.56 ↓	3.63
	考えを伝えたり相談したりする話合いの場面がある授業を行っている。	3.71 ↑	3.57
	家庭学習（自学）の内容や方法について指導している。	3.42 ↓	3.49
	基本的な生活習慣（身なり、時間、あいさつ等）について指導をしている。	3.51 ↓	3.52
	自分を見つめ、仲間を思いやる心を育てる道徳の授業を行っている。	3.52 ↓	3.63
	学級全員が一緒になって取り組めるように指導している。	3.53 ↓	3.60
	体験学習や地域とのふれあいの場、ボランティア活動の情報を提供している。	3.40 ↑	3.32
	あなたの立場を尊重し、いじめや偏見、差別を許さない指導をしている。	3.54 ↓	3.60
	あなたが相談したことや聞いたことに、素早くいねいに対応している。	3.48 ↓	3.53
	あなたの進路実現に向けて考える場や相談できる場を提供している。	3.45 ↓	3.51
	部活動を計画的に指導している。	3.24 —	3.24
	iPadや携帯電話、SNS等の使い方やマナーの指導をしている。	3.52 ↓	3.59
自分たちの頑張りや笑顔を、認めたり褒めたりしている。	3.51 ↓	3.66	
保護者	一人一人に確かな学力を身に付けさせようと指導している。	2.95 ↑	2.91
	宿題を出したりスタディサブリの活用を促したりして、家庭学習について指導している。	3.01 ↑	2.98
	基本的な生活習慣を身に付けさせようとしている。	3.11 ↑	2.97
	他を思いやる心を育てようとしている。	3.15 ↑	3.05
	仲間と共に達成感や満足感を味わえる行事・活動を行っている。	3.25 ↑	3.09
	体験や地域とのふれあいを通じて、地域社会と関わる大切さを指導している。	3.18 ↑	3.13
	いじめや偏見・差別を許さない指導をしている。	3.25 ↓	3.14
	生徒に寄り添い、生徒をより理解しようとしている。	3.18 ↑	3.10
	可能な範囲で学校での子どもたちの様子を参観する機会を位置付けている。	3.17 ↑	3.04
	保護者や生徒からのいじめ等の相談に迅速に対応している。	3.11 ↓	3.20
	進路実現に向けて、適切かつタイムリーに情報を提供している。	2.95 ↓	2.96
	計画的に部活の指導をしている。	2.99 ↑	2.90
	iPadや携帯電話、SNS等の使い方やマナーの指導をしている。	3.10 ↑	3.03
学校だよりや学年・学級通信、ホームページなどで学校の様子を保護者に伝えている。	3.15 ↓	3.29	
地域	地域に対して積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりをしている。	3.25 ↓	3.71
	地域の方から積極的に情報を受け入れ、指導に生かしている。	3.50 ↓	3.57
	地域の活動や行事に対して理解があり、積極的に協力している。	3.50 ↓	3.57
	学校運営協議会を中心にコミュニティ・スクールが適切に活動している。	3.50 ↑	3.29

### 【考察】

昨年度と比べて数値の大きな変化は見られませんでした。が、「学校は、考えを伝えたり相談したりする話合いの場面がある授業を行っている。」の質問に対して、約93%の生徒が肯定的に回答していることから、今年度、重点項目の一つであった「小集団学習を取り入れた授業づくり」には一定の成果があったと考えています。しかし、「授業でのできた、分かった」が学力の定着にまでつながっていない様子も伺え、このことについては学習指導における課題として捉え手立てを検討していきます。

新型コロナウイルス感染症予防のための行動制限が解除されたことを受け、内容の見直しを図りながら学校行事を進めてきました。家庭で「学校や仲間との学習や活動が楽しい」と話しているという保護者のご意見もあり、引き続き有意義な体験活動を取り入れた教育活動を進めていきたいと考えています。一方で、保護者に来校していただく機会が集中した月があったことから、保護者の負担につながった面があり、このことを踏まえて令和6年度の年間行事の見直しに取り組んでいます。また、部活動から地域クラブへの移行については、国や県、市の方針を踏まえながら丁寧な説明を心がけて理解を図っていきたくと考えています。